

地鎮祭式次第

1.手水の儀

式場に入るにあたり、手水を取り清めます。

1.修祓の儀

神職が神前にて祓詞を奏上し、大麻（おおぬき）で祓い清めます。

1.两段再拝

神職・参列者ともに併せ、「二礼四拍手二礼」の作法にて拝礼をします。

1.降神の儀

祭段に設けられた神籬へ、「八幡大神」「産土大神」「大地主大神」「屋船久々遅神」をお招きします。

1.献饌の儀

神前に御饌神酒を供えます。

1.祝詞奏上

神職が「八幡大神」「産土大神」「大地主大神」「屋船久々遅神」へ、工事安全を祈念する祝詞を奏上します。

1.四方祓い（清祓の儀）

敷地を大麻（おおぬき）・切り麻（きりぬき）にて祓い清めます。

1.地鎮の儀

施主及び施工者が初めてその土地に手をつける神事であり、敷地の永遠の安定と工事の無事安全を祈願します。鎌・鋤・鍬・鎮物を用い、以下の通り執り行います。
一般には、設計者が刈初（かりぞめ）、施主が穿初（うがちぞめ）、施工者が鋤入（くわいれ）をそれぞれ行います。

1.玉串奉奠

神職に続き、工事関係者方に玉串を奉り拝礼していただきます。

1.撤饌の儀

供えられた神饌をお下げします。

1.昇神の儀

降神された神様にお帰りいただく神事です。

1.两段再拝

神職・参列者ともに併せ、「二礼四拍手二礼」の作法にて拝礼をします。

1.神酒拝戴

供えられた神酒を皆で分かち、恩頼（みたまのふゆ）を蒙ります。